

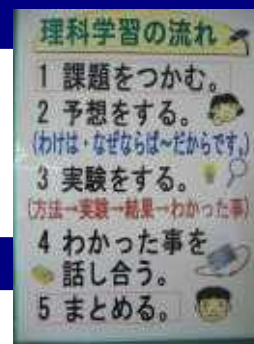
学力向上に向けた取組

1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着

2 課題解決の具体策

問題解決的な学習の充実
個に応じた指導の充実
練り合い活動の充実
「読み・書き・計算」の習熟



3 取組の概要

について

- 一人一人の児童の学習実態を把握する。
- 課題意識を高める工夫をする。

について

- 指導方法・指導体制・指導内容などを工夫する。
(コース別学習, TT, 補充・発展的な内容など)
- TTルームを設置し, 活用する。
- 外部講師を活用する。

について

- 交流場面と方法を充実させる。
- 話の聞き方・話し方の徹底(学習の約束)する。

について

- 朝学習(おはスタタイム)を充実させる。
(全校で曜日ごとに「読書・漢字練習・計算練習」を行い, 習熟学習する時間とする)



4 成果と課題

について

問題解決的な学習を展開したことにより, 児童の学習意欲に高まりが見られたとともに, 興味をもって取り組み, 主体的に学習に参加する様子が見られるようになってきた。問題解決学習でどの程度意識を高めることができたか, 判断できる評価の工夫が望まれる。

について

多様なコース別学習の形態の導入をはじめ, その他各実践により, 指導の個別化や学習の個性化が図られ, 個に応じながら指導することができた。多様なコース別学習形態を導入するにあたっては, どの単元でどの学習形態がより個に応じられ効果的なのかを明確にしていく必要がある。

について

練り合うことにより, 一人一人の児童の考えを深めることができた。より主体的に練り合い, 自分の考えを確かなものにしていく必要がある。

について

児童の学習に対する習慣を身につけ, 学習への意識や活力の高まりが見られ, より効果的な授業ができるとともに, 学ぶ意欲も増してきた。授業にどのように関連づけ, どのように生かしていくか, さらなる検討が必要になる。